

認定心理士認定委員会より

1. 認定委員会について

2010年度認定委員会における認定心理士の総審査件数は3482件、このうち取得者が3179件でした。これで平成2年度よりの取得者累計は3万3183件となりました。

ところで取得者は平成17年に3000件を超え、以後平成20年まで増加傾向にあり、最大3620件となったが、平成21年度は3401件、平成22年度は、上記の件数となったことからわかるように、若干の減少傾向にあります。

平成23年度もすでに認定委員会を4月、5月にそれぞれ開催しています。審査数は、例年600件を超えていましたが、今年度は、4月580件、5月427件の審査数であったことから減少傾向が疑われます。3000件を超える取得者数をできれば維持したいものです。

なお、平成23年4月1日から公益社団法人日本心理学会となり、公益法人化後の新規役員体制での学会運営が6月4日に開催される総会以後に行われることとなります。認定委員長は、山田寛先生（日本大学）の予定です。

2. 研修会について

2011年度の研修会の開催については先に報告したとおりですが、東日本大震災の影響で、会場が使えない等のあることがあり、若干の期日の変更がありますので、改めてお知らせいたします。

- 第1回 2011年6月4日 会場：秋葉原 UDX ギャラリー テーマ「企業従業員のストレス対策と Well-being 向上を目指して—組織の資源として健康を捉える」(松田与理子・種市康太郎)。
- 第2回 2011年8月20日 会場：北翔大学北方圏学術情報センター PORTO テーマ「この時代を生きるということ—心理学のもたらす支え」(村瀬嘉代子)。
- 第3回 2011年9月17日 会場：日本大学 (第75回大会時) テーマ「脳は鍛えることができるか？」(川島隆太)。
- 第4回 2011年9月18日、19日のいずれか 会場：名古屋大学 テーマ(未定) (社会心理学会との共催)。
- 第5回 日時(未定) 会場：仙台 テーマ「社会に生きる行動分析学」(中島定彦・佐竹次次) (行動分析学会との共催)。
- 第6回 2011年11月26日 会場：琉球大学 テーマ(未定) (沖縄心理学会との共催)。

3. 認定委員会のデータベース化

認定委員会の書類審査は、過去の資料を参照することで行っていますが、資料が非常に多く、参照がきわめて煩雑となっています。また資料は5年間の保存期間を過ぎると廃棄処分としますので、それ以前の過去の資料の参照は難しくなります。卒業後、年数が過ぎての申請の場合には、シラバスの提出が難しくなることがあります。また同じ科目名でも担当が異なることもあり、参照する際の問題になります。こうしたことがあり、簡便に資料を参照できるシステムの構築が急務となっています。

(日本心理学会認定担当常務理事・日本大学教授 横田正夫)

編集後記

心理学と絵画のかかわりを考える特集はいかがでしたでしょうか。活字離れといわれながらも、テキストメッセージによるコミュニケーションや携帯情報端末で読む電子書籍が普及していることを考えると、今後は絵画という古典的媒体に限定せず、私たちがディスプレイ上の画像に接する際の心理学的問題を検討すべき時代になってきたのでしょうか。今回の特集をこのように展開させてゆくのも、おもしろいかもしれません。(櫻井研三)

編集委員長 仲真紀子 北海道大学
編集委員 青山謙二郎 同志社大学
 久保南海子 愛知淑徳大学
 櫻井研三 東北学院大学
 三宮真智子 大阪大学
 柴崎光世 明星大学
 杉浦義典 広島大学
 深谷優子 東北大学
 宮本聡介 明治学院大学
 森岡正芳 神戸大学
 渡邊芳之 帯広畜産大学
担当常務理事 箱田裕司 九州大学

心理学ワールド [54号] 2011年7月15日発行 年4回発行(1月、4月、7月、10月)

発行人—佐藤隆夫
 編集・発行—公益社団法人 日本心理学会 〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル TEL 03-3814-3953
 表紙デザイン—虎尾 隆 印刷・製本—銀河
 制作—(株)新曜社